

## 必修科目：内科

### 【研修目標】

#### 1 到達目標（G I O : General Instructional Objective）

内科の基本的医療技術習得と共に、内科疾患の基礎的な診療技術を習得する。

そのために入院患者の担当医の一人として、内科医に必要な以下の基本事項について修得する。

#### 2 行動目標（S B O s : Specific Behavior Objectives）

- (1) 患者、家族との対話法などコミュニケーション能力
- (2) 内科疾患における原則的な診療ステップの理解と実践：データ収集（問診・所見・検査）→解釈・診断→オーダー・治療
- (3) (2) に準拠した各疾患における診断治療の一般計画の設定
- (4) 内科疾患に特有の身体症状と病歴に応じた問診法、既往歴と家族歴の聴取法、疾患特異的な身体所見の診察法
- (5) 臨床検査の意義・検査法を理解し、自ら適切な検査を計画・実施して検査結果を患者に説明する。
- (6) POS に従った診療録の記載
- (7) インフォームド・コンセントの理解と実践
- (8) 診療要約の作成と発表
- (9) 紹介状、診断書の作成
- (10) 学会・研究会での発表と討論参加

### 【研修方略】

#### 1 研修場所

大阪労災病院

#### 2 研修期間

6 か月間（24 週以上）とする。また、原則として連続した期間とする。

#### 3 研修方法

入院患者の担当医の一人として行動目標に沿って診療・研修を行う。

#### 4 研修スケジュール

腎臓内科・糖尿病内科・高血圧卒中内科・循環器内科・消化器内科のスケジュールに準

ずる。

### 3 研修責任者（指導責任者）

副院長・内科部長・腎臓内科部長 山内 淳  
糖尿病内科部長 良本 佳代子  
高血圧卒中内科部長 橋本 弘行  
副院長・循環器内科部長 西野 雅巳  
副院長・消化器内科部長 平松 直樹

### 【評価】

#### 1 評価方法

- (1) 研修医は研修到達度の自己評価をE P O Cに入力する。
- (2) 指導医または指導責任者は研修期間終了時に評価表により、研修医の研修到達度を評価し、E P O Cへ入力を行う。